

令和6年度 学校教育目標等

教育局	後志	学校	北海道岩内高等学校	課程	全日制課程
-----	----	----	-----------	----	-------

- 1 学校教育目標
 - (1) 豊かな人間性を育む
 - (2) 自ら学ぶ意欲を育む
 - (3) 健康な心身を育む
- 2 スクール・ミッション
 - (1) 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成。
 - (2) 地域を担う人材の育成：地域の課題を見つけ、その課題を解決するための方策を協働的に検討し、具体的方策を実践できる。

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針
◇ 豊かな心を持ち、協働し社会に貢献できる生徒。
○教育課程の編成及び実施に関する方針
◇ 単位制の特色を活かし、多様な進路に対応できる教育課程を編成・実施する。
○入学者の受入れに関する方針
◇ 豊かな心を持ち、多様な人々と協働しながら高い目標をもって学ぶ生徒。
◇ 地域の課題を解決する意欲を持ち、自己実現のために必要な資質能力の向上に積極的な生徒。

4 指導上の重点事項

重点目標	「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた学習指導の工夫と改善の推進、生徒一人ひとりを多様な観点で評価する観点別評価の充実、個々の生徒に寄り添う生徒指導と進路指導の推進
学習指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 スクール・ミッションを踏まえて、自ら課題を探し主体的に解決策を見いだす「探究力」を育む機会の充実を図る。 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、生徒が主体的に考え、協働的に解決策を見いだす学習指導を推進する。 3 生徒個々の習熟の程度や認知特性の違いを理解し、「個別最適な学び」の充実を図るため、習熟度学習やティーム・ティーチングの実施、ICT機器の有効活用を推進する。
生徒指導	<p>生徒が将来に渡って社会で必要とされる人材となるよう、基本的な生活習慣の確立と心の育成を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「時を守る」指導を推進し、先のことを考えた行動をとったり、周囲の人から信頼されるための規範意識を身につける。 2 「場を清める」指導を推進し、環境整備や公共物を大切にすることを育む。 3 「礼を正す」指導を推進し、相対する人への尊敬の念を育み、素直な心と謙虚な姿勢を育む。
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 望ましい勤労観・職業観を育むため、地域の企業や行政機関等の協力の下、体験的・経験的な進路学習活動の機会の充実を図る。 2 生徒一人ひとりが主体的に進路目標を設定し、進路希望実現につなげるため、早期から計画的に進路面談の機会を設け、生徒の進路意識高揚を図る。 3 自らのライフプランを考えるなど長期的な視野に立ったキャリア教育の充実を図り、併せて社会的・職業的自立に向けて必要な「基礎的・汎用的能力」を育成する。
健康・安全指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 思春期特有の課題等について外部講師を活用した講話や講演会等を実施し、人としての望ましい在り方生き方について生徒が主体的に考える機会の充実を図る。 2 生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、感染症及び薬物乱用防止に有益な指導を行うとともに、心身に関する教育相談体制の充実を図る。 3 さまざまな事故や災害から身を守る知識と、加えて地域の防災活動等で貢献できる人物を育成するため、家庭・地域と連携して交通安全や防犯、災害時の対応等に関する指導の充実を図る。

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

北海道岩内高等学校のグランドデザイン(令和6年度版)

スクールミッション (本校の社会的役割)

- 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成。
- 地域を担う人材の育成:地域の課題を見つけ、その課題を解決するための方策を協働的に検討し、具体的方策を実践できる。

学校教育目標

- 豊かな人間性を育む
- 自ら学ぶ意欲を育む
- 健康な心身を育む

スクールポリシー (教育活動の指針)

1. グラデュエーション・ポリシー (このような生徒を育てます。)

- 豊かな心を持ち、協働し社会に貢献できる生徒。

【生徒の実態】

- 心優しく、素直な生徒が多い。
- 学校行事や部活動に対し特に意欲的。
- 地元で活躍する同窓生が多い。

【めざす生徒像】

- 自らを律し、他者を思いやる心を持つなど、豊かな人間性を身に付けた生徒。
- 確かな学力を身に付け、自ら立てた課題の解決に主体的に取り組むなど、生涯にわたり学びを継続する力を身に付けた生徒。
- 生涯を健康に過ごすための知識と自らなすべきことを理解して努力できる生徒。

2. カリキュラム・ポリシー (このような教育活動を行います。)

- 単位制の特色を活かし、多様な進路に対応できる教育課程を編成・実施する。

【資質・能力(知)】

- よりよい地域・社会を実現するために協働的に取り組む力
- 自己実現に向け主体的に課題解決に取り組む力

【豊かな人間性(徳)】

- 規範を遵守する力~「時を守る」「場を清める」「礼を正す」~
- 他を思いやる心と健全な人間関係を構築する力

【健康・体育(体)】

- 健康に暮らすことのできる生活習慣や体力
- 心身の健康を維持し、様々な危険から身を守る力

何ができるようになるか(学校生活の基本)

- 学んだ知識・技能を社会の様々な場面で活用できる。
- 情報を収集・分析し、それを活用し地域課題を解決できる。
- 主体的・協働的に学びに向かうことができる。
- 自己の感情や行動を統制できる。

何が身についたか(学習評価を通じた学習指導の改善)

- 社会的課題に対し、学んだ知識・技能を生かし、解決策を考えようとしている。
- 望ましい職業観を身につけ自己実現を図ろうとしている。
- TPOに応じた適切な言葉遣いと態度で対応している。

何を学ぶか(教育課程の編成)

- 社会生活や自己実現に役立つ、知識・技能を学ぶ。
- 課題発見・解決に必要な、思考力・判断力・表現力を学ぶ。
- 場面に応じて行動する力、他者を尊重しながら自分の考えを伝える力。

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- 地域人材を活用した、課題解決型学習を実施。
- 習熟度別学習やICTを活用した個別最適な学びを実施。
- 生徒の実態に則した、わかる授業、学び合う授業の実施。
- 連帯感・達成感・帰属意識を高める特別活動の実施。

実施するためには何が必要か

(指導体制の充実、環境整備、家庭・地域との連携、開かれた学校)

- 観点別評価の充実による「指導と評価の一体化」。
- 学校運営協議会を中心とした、地域・企業との連携。
- ホームページや広報誌を活用し、情報発信の頻度をあげる。

生徒をどのように支援するか

(どのような配慮が必要か)

- 特別支援委員会を中心とした支援体制。
- 外部の専門機関との連携。
- 系統的なキャリア学習の充実。

3. アドミッション・ポリシー (このような生徒の入学を待っています。)

- 豊かな心を持ち、多様な人々と協働しながら高い目標をもって学ぶ生徒。
- 地域の課題を解決する意欲を持ち、自己実現のために必要な資質能力の向上に積極的な生徒。